



令和8年度

ふるさとわかやま学習大賞

わたしたちのふるさと和歌山には、豊かな自然、伝統ある文化、現代の和歌山を築いた先人など、日本に、そして世界に誇れる人やものがたくさんあります。そのような素晴らしいふるさと和歌山について、学校で学んだことをまとめ、応募してください。

詳しくはこちら



対象	県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校 ※学校、学年、学級、クラブ、その他（グループなど）を応募単位とします。個人での応募はできません。
内容	「ふるさとの先人」や「ふるさとの産業」など、児童生徒が、各教科、特別の教科 道德、特別活動、総合的な学習の時間等において学んだ「ふるさと」の素晴らしさをまとめたものとします。
部門	●模造紙部門 模造紙1枚（縦横は自由） ※まとめ方は自由。ポスターや新聞等、形式は問いません。 ●リーフレット・パンフレット部門 リーフレット様式 A3用紙、B4用紙または八つ切り画用紙1枚（両面） ※折り方は自由 パンフレット様式 A4用紙（両面）3枚～10枚とし（表紙を含む。） ※とし方、用紙の縦横は自由 ●動画部門 時間3分以内 DVDメディアで提出 ※家庭用DVDプレーヤーで再生できるもの
応募期間	令和8年10月30日（金）から12月25日（金）まで
提出物	作品、応募用紙、学校出品票
提出先	○市町村立の学校においては、各市町村（学校組合を含む。）教育委員会で取りまとめの上、和歌山県教育委員会義務教育課に提出すること。 ○国立、県立、私立の学校においては、各学校で取りまとめの上、直接、和歌山県教育委員会義務教育課に提出すること。
表彰	★ ふるさとわかやま学習大賞及び副賞…………… 6点 ★ ふるさとわかやま学習奨励賞及び副賞…………… 10点 ★ ふるさとわかやま学習特別賞及び副賞…………… 応募校の中から2校程度 県教育委員会が大賞受賞校を訪問し、表彰を行います。

新しい賞が加わったよ！



昨年度の大賞作品



主催 和歌山県教育委員会
問合せ先 義務教育課 教育改革班／☎073-441-3661

協賛 公益財団法人 大桑教育文化振興財団

「きいtube」で発信事業

「和歌山県のこどもたちの主体的な取組をつないでいきたい」という思いをこめて始めた「きいtubeで発信事業」。

各学校での取組や、こどもたちが探究的に学んでいる様子をYouTubeで発信しています。

また、地域の方々や他の学校の児童生徒など、多くの人に取組を知ってもらふ機会にすることもできます。

学校での取組を発信する「きいtube」を、ぜひご活用ください。

問合せ先 義務教育課 学力・学習班／☎073-441-3689

学校からの動画投稿をお待ちしています！

動画一覧



掲載されている動画は、県教育委員会のHPにあるリンクから視聴することができます。



Art Museum Library event / 展示・イベント

県立近代美術館

和歌山市吹上1-4-14
☎073-436-8690

なつやすみの美術館16

もしも“美術”がなかったら

期 間 | 7月11日（土）～9月27日（日）

夏休み恒例の展覧会「なつやすみの美術館」。こどもも大人も、さまざまな世代と一緒に楽しむ展覧会として、毎年さまざまなテーマを設けて開催しています。16回目の今回は「もしも“美術”がなかったら」がテーマです。

“美術”がないとはどういうことでしょうか。学校の授業から“美術”がなくなってしまうということ？ それとも人間が生み出す絵画や造形について、言い表す言葉がなくなってしまうということ？ 私たちが“美術”と名づけているものがないか、そして“美術”があるから捉えられる世界について、一緒に考えてみましょう。学校の先生たちと一緒に作っているワークシートも準備して、お待ちしております。



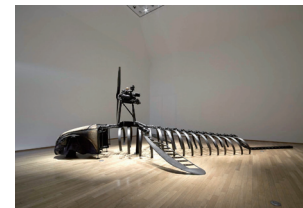
▲昨年度の展覧会の様子

◀日野田崇《新しい家族》2023年 撮影：福永一夫（当館蔵）

MOMAW コレクション 絵画と彫刻 MOMAW コレクション 版画と美術散歩

期 間 | 8月4日（火）～2027年1月11日（月・祝）

洋画、日本画など明治以降に展開した日本の絵画を、和歌山ゆかりの画家を中心に迎るとともに、テーマも表現手法もさまざまに拡張し続ける多彩な彫刻表現の魅力を探ります。また、コレクションの核の一つである、版画の名品を道案内にして、アートの世界を巡ります。



▲國府理《ROBO Whale》2008～2009年 当館蔵



▲エドヴァルト・ムンク《病める子》1896年 当館蔵

休館のお知らせ

県立紀伊風土記の丘

現在休館中です。開館時期につきましては、決定次第、ホームページにてお知らせいたします。なお、園内は自由に散策可能です。

県立自然博物館

海南市船尾370-1
☎073-483-1777

特別展 大カエル展

期 間 | 7月11日（土）～8月30日（日）

会 場 | 自然博物館レクチャールーム

今年の特別展のテーマは身近な生き物のカエルです。日本にすむカエルの仲間54種すべてが、標本や生体で大集合！ カエルってどんな生き物？ 数を減らしているカエルとは？ 和歌山にすむカエルたちなど、様々なカエルの不思議を紹介します。



県立博物館

和歌山市吹上1-4-14
☎073-436-8670

特別展 蘆雪生動 -南紀 無量寺への旅-

期 間 | 8月11日（火・祝）～9月23日（水・祝）

江戸時代の京都の画家、長沢蘆雪。愛らしい生き物や、くすっと笑ってしまうような表現が得意です。そんな蘆雪の初めての大仕事、和歌山の南の三つのお寺で描いた、180枚ほどにもなるふすま絵。三つのお寺のうちの一つが、串本町にある無量寺です。無量寺は今年、ふすま絵を大切にしまってきた収蔵庫を修理することになりました。県立博物館ではこの修理に合わせ、紀南に残る生き生きと動き出すような蘆雪の絵を、一堂に公開します。



県立図書館

和歌山市西高松1-7-38
☎073-436-9530

サマー遊ing2026（集まれ、こどもたち）～日頃できない体験を通じて、「もっと知りたい、もっと学びたい」へ～

期 間 | 7月25日（土）・26日（日）、28日（火）

【内容】ウミガメに触れて、海の不思議を知る。古代のアクセサリー（勾玉）づくり。高校生による工作教室や農産物販売。図書館ワークショップ。映画鑑賞など。

